**情報公開文書**　　複数施設研究用

**研究課題名**：CKD セルフケア支援に必要な「CKD 看護師教育プログラム」の実装研究
**倫理審査担当：国際医療福祉大学研究倫理審査委員会**
**承認日：西暦 2026 年 2 月 13 日　　承認番号：25 - TA - 254**

**研究期間：西暦 2026 年 2 月 13 日～：西暦 2027 年 3 月 31 日**

## １．研究の対象

・2025 年 7 月に、名古屋大学医学部附属病院で実施されている、CKD 看護教育プログラム（Career Transition Program in CKD Nursing:以下、CKDCTP)に参加した看護師 12 名
・CKDCTP に参加した看護師 12 名の直上司である看護師長 2 名（腎臓内科病棟および外来の師長）

## ２．研究目的・方法

本研究は、慢性腎臓病（CKD）患者の看護を行う看護師に、CKD セルフケア支援の方法を CKD 看護教育プログラムを実装し、看護師の CKD 看護実践能力を高めることを目的とする。また、教育を受けた看護師の教育前後および一定期間後の看護師の行動変容を評価することを目的とする。さらに、このプロセスを実装科学の視点から検討し、教育を受けた看護師が CKD チーム医療における一員として体制整備が構築できる実効性のある組織の支援体制について検証する。

## ３．研究に用いる試料・情報の種類

１．CKDCTP 受講時に得た情報
・匿名化された看護師歴背景に基づく基本属性用紙
・CKDCTP 受講時の前後で取得した CKD 知識確認用紙
・看護問題行動自己評価尺度
・職場の準備性尺度と組織変化の実装準備尺度

２．新規データ：CKDCTP 受講後 6 か月以降から 12 か月まで
・CKD 知識確認用紙：CKDCTP 受講 6 か月後の CKD に関する知識の持続性を確認する。
・CKD 看護実践の振り返りのための半構造化面接：CKDCTP 受講 6 か月後に、研究者と対象者が共同施設において、30 分程度面談する。（計 12 回実施する）
・看護問題対応行動自己評価尺度：CKDCTP 受講後 8 か月後と 12 か月後に実施する。
・職場準備性尺度と組織変化の実装準備尺度：CKDCTP 受講 12 か月後に実施する。
・半構造化面接：CKDCTP 受講後 12 か月後に、研究者と 1 グループ 4 名の対象看護師と約

60 分程度のフォーカスグループインタビューを 3 回実施する。また、研究者と対象看護師の上司にあたる外来師長および腎臓内科病棟師長と 45 分程度、3 者で面談を行う。

## ４．外部への試料・情報の提供

該当なし

## ５．研究実施体制

研究責任者：

国際医療福祉大学大学院　副大学院長　福井トシ子

研究実施者：

国際医療福祉大学大学院医療福祉学研究科看護学分野博士課程　高井奈美

共同研究機関：

一宮市立市民病院　腎臓内科部長　新田華代

一宮市立市民病院　病院長　志水清和

一宮市立市民病院　副看護局長　福崎洋子

一宮市立市民病院　看護局長　日比幸江

## ６．お問い合わせ先

本研究に関するお問い合わせ(本研究への協力に同意されない場合を含む)連絡先:

相談窓口:研究実施者氏名　高井奈美　(たかい　なみ)

・所属　国際医療福祉大学大学院博士課程　名古屋大学医学部附属病院　看護部　内科外来
・職名　看護師
・連絡先　052-741-2111(PHS　3225)　平日 9 時～17 時　対応
・メール　takai.nami.n9@f.mail.nagoya-u.ac.jp(随時対応)

研究責任者氏名　福井　トシ子　(ふくい　としこ)
・所属　国際医療福祉大学大学院　東京赤坂キャンパス
・職名　副大学院長　教授
・連絡先　03-5574-3900(代表)　火曜日　10 時～19 時　対応
・メール　toshikofukui@iuhw.ac.jp(随時対応)